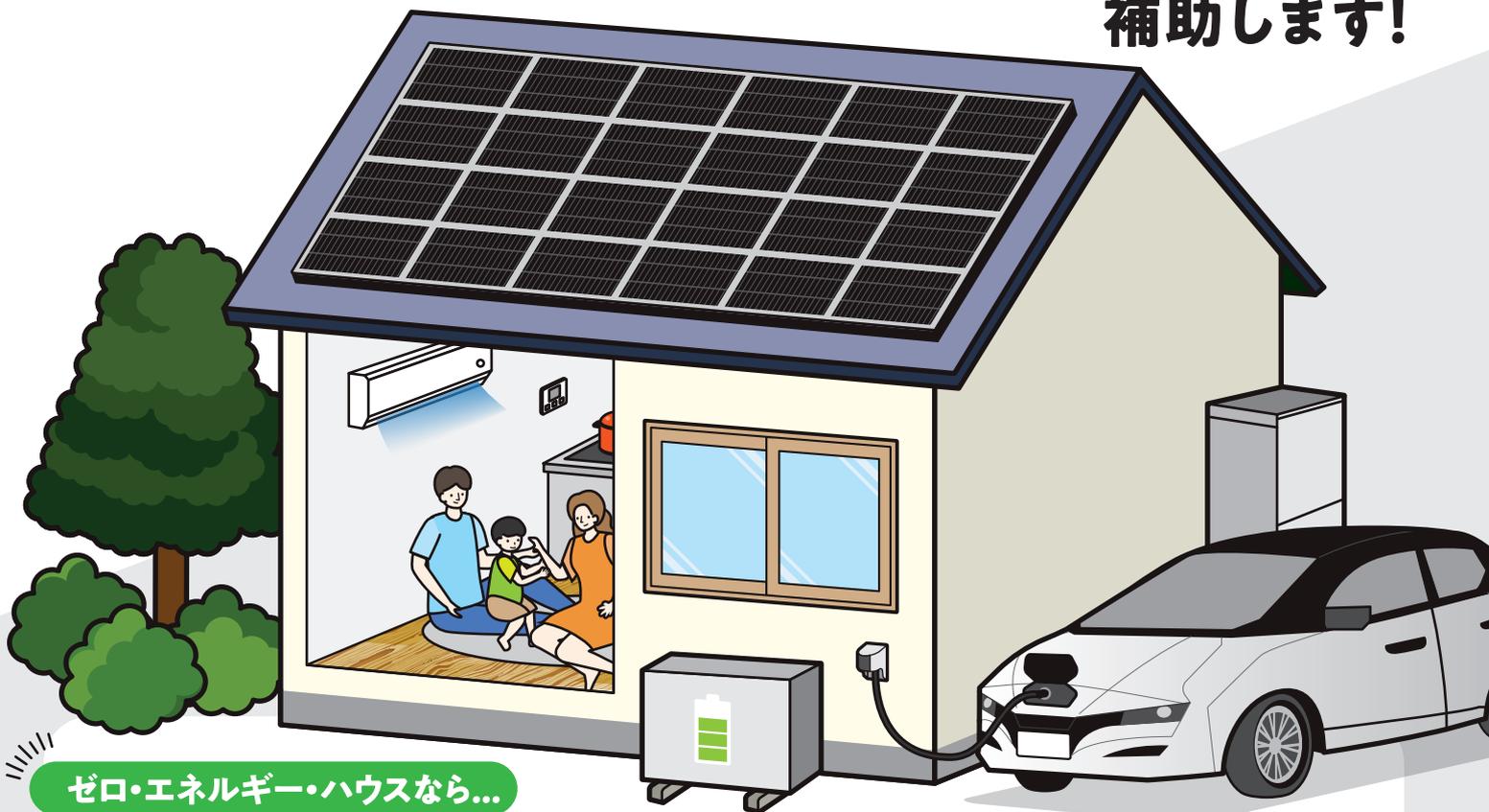


新築をお考えの方に

ゼロ・エネルギー・ハウスに**最大210万円**

補助します!



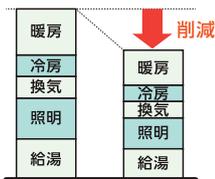
ゼロ・エネルギー・ハウスなら...

快適な
室内空間



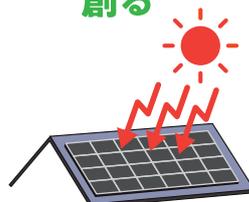
高断熱・高気密で
省エネする

エネルギーを
効率よく使う



高効率な設備で
エネルギーを抑える

エネルギーを
創る



太陽光発電などで
エネルギーを創る

≧ 0

エネルギー収支
ゼロへ

+

さらにプラスなコトがいっぱい...

健康にプラス+

高断熱のため、室温を一定に保ちやすく、冬は、住宅全体を暖められるので、ヒートショック対策にもなります。



家計にプラス+

エネルギーを効率よく使うことに加え、太陽光発電による「創エネ」により、月々の光熱費を安く抑えることができます。

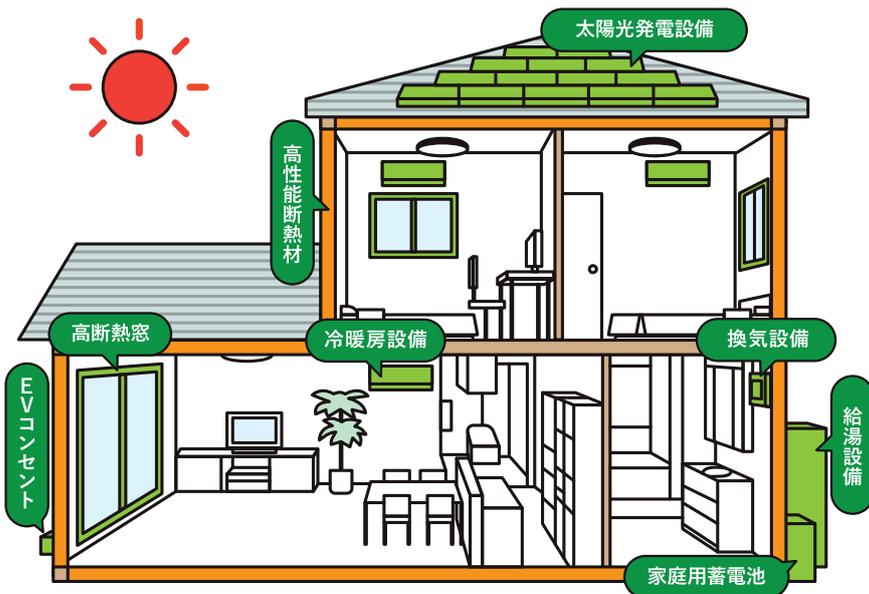


安心をプラス+

蓄電池も備えることで、夜間の停電時でも電気が使えて安心です。



補助対象と補助額



	補助対象	補助額(最大)	補助率
住宅	ZEH ※1	55万円	定額
	ZEH+ ※2	100万円	定額
設備	太陽光発電設備 ※3 (自家消費型)	63万円	7万円/kW
	蓄電池 ※4	47万円	1/3 (上限4.7万円/kWh)

※1 ZEH(ゼッチ)は、「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」の略。断熱・省エネ・創エネにより、エネルギー収支をゼロ以下にする住宅。

※2 ZEH+(ゼッチ プラス)は、断熱・省エネ性能をより高め、太陽光発電設備からEV等に充電できる設備などを設置した住宅。

※3 太陽光発電設備は、FIT制度の認定を取得しないものが対象になります。また、発電した電力量の30%以上を、住宅内で消費する必要があります。PPA又はリース(以下、「PPA等」という。)での導入も可能。

※4 蓄電池はPPA等での導入も可能。

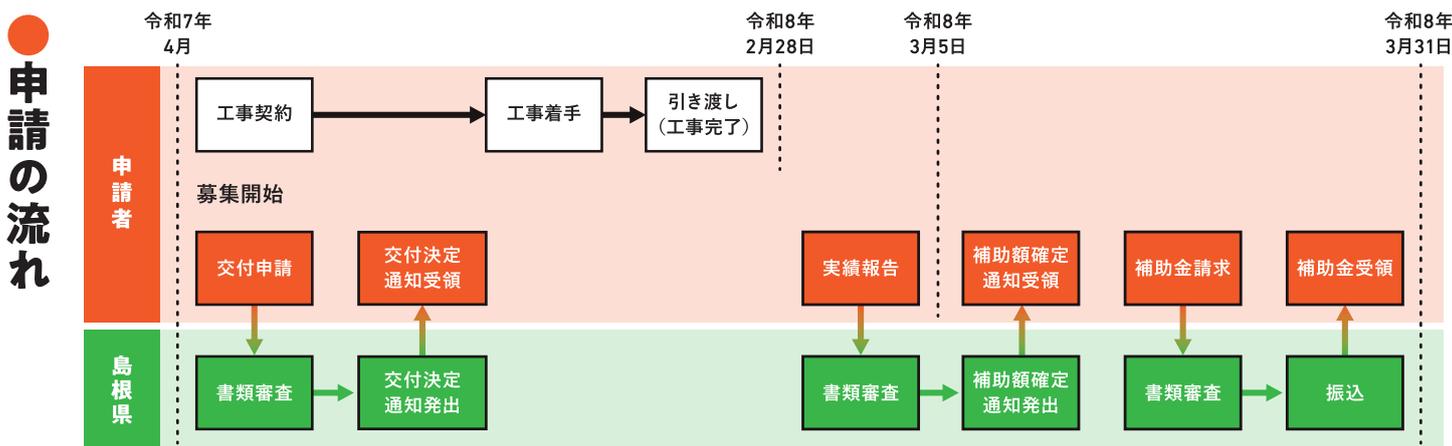


補助額
最大 210万円

※5 ZEH+の場合の補助額。ZEHの場合は補助額は55万円。なお、太陽光発電設備の導入は必須です。

※6 設備容量が9kWの場合の補助額。なお、太陽光発電設備は、本補助金を活用しない方法で導入することも可能です。※7 設備容量が10kWhの場合の補助額。なお、蓄電池の導入は必須要件ではありません。

申請方法等



補助要件	対象となる住宅・設備	対象となる方	県産木材の要件	施工業者の要件	その他要件
対象となる住宅・設備	県が国から交付決定を受けた日以降に工事請負契約を締結する新築住宅及び再エネ設備であって、県からの交付決定日以降に工事に着手し、令和8年2月28日までに完了するもの。	県内で新築する戸建住宅の建築主(建築後に当該住宅に常時居住する個人) ※再エネ設備をPPA等により導入する場合は、再エネ設備に限り、対象者をPPA等事業者とする。	主要構造部(柱、土台)における県産木材の使用割合が35%以上であること。 ※主要構造部以外の県産木材使用量も、使用割合に加味することができます。	県産木材の供給から設計・施工までをグループ化して取り組む団体に属する中小工務店が施工した住宅であること。	・補助対象が重複する国の補助金や国費が財源となっている市町村の補助金を併用することはできません。 ・ZEH又はZEH+は、BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)評価書の取得が必要となります。 ・その他にも要件がありますので、詳細は県のホームページに掲載する補助金交付要綱等をご確認ください。

お問い合わせ先

エコサポしまね
公益財団法人しまね自然と環境財団
松江事務所

TEL:0852-67-3262【電話受付時間 9:30~17:00(土日祝日除く)】
E-mail:eco-house@nature-sanbe.jp

